

心ゆたかに

発行株式会社天峰建設 袋井市横井 115-3
TEL0538-43-6773 FAX0538-43-7250
ホームページ 天峰建設で検索を
Eメール tenpou@mail.wbs.ne.jp

第 161 号 発行日 令和 4 年 9 月 1 日

秋葉山本宮秋葉神社 神門 保存修理工事 浜松市天竜区

浜松市指定有形文化財 秋葉神社神門は古くから神体山・霊山として信仰を集めた秋葉山において、天保2年（1831）諏訪を本拠地に活動した立川流二代目四郎富昌が建築した。随所に優美な立川流彫刻を纏っている。石碑より嘉永3年（1850）に修理等が行われ、その後も幾度かの補修を重ね昭和18年（1943）の秋葉神社大火の難を逃れて今に至っています。創建より190年を経過し土地の沈下や建物の歪み、平成30年（2018）の台風19号で参道の杉の木が倒れ屋根の損傷や構造部分の緩み等がみられたため、3年間の文化財保存修理工事を弊社にて施工させていただきました。秋葉山本宮秋葉神社直轄工事として令和2年（2020）春より建立後初となる全解体修理工事に着手し、令和5年（2023）3月末に完了見込みです。昨年12月から今年7月までこけら葺き工事が行われ壮麗な美しい屋根が完成し8月末に足場が撤去されました。今回の工事で初めてこけら屋根の全景を写真撮ることができ、屋根のラインや箕甲（みのこう）が計画通りで美しく仕上がっています。

棟や鬼板の銅板は、すぐに落ち着いた色になり、こけら板の木肌は黒くなっていくので、ま新しい屋根の印象は今だけの限定です。

これから完成に向け、基壇石畳や外構、参道整備などの工事に移っていきます。



屋根の絶妙のライン。杉の板で葺かれたこけら屋根の素晴らしい全景。